７議会第１３号
令和７年４月１８日

高山市長　田中　明　様

高山市議会
議長　渡辺　甚一

政策提言について

高山市議会基本条例第２条及び第１２条の規定により、下記のとおり提言する。

記

１．森林・環境資源を基軸とした産業構造の高度化との連動性と、共生を意識した地域づくりについて

森林や環境を基軸とした産業構造の高度化を達成するためには、相互に補完し合う三つの視点から、地域社会全体の協力と発展を促進することが重要である。すなわち、施策間連携を促す産学官金労言士による連携体制の強化、脱炭素の取組みを後押しする市民意識の醸成、そして地域間連携を深化させる再生可能エネルギー事業を基軸とした地域循環型社会の実現である。

これらの取組を通じて、共生を意識した地域版ＧＸ（グリーントランスフォーメーション）の推進を図り、最終的には「住んでよし、訪れてよし」という飛騨高山らしい地方創生の姿を体現する、持続可能な社会の構築を目指すべきである。

よって、森林資源や地域資源を最大限に活用しながら、地域内外の多様な主体が連携し、ＧＸと地方創生の好循環を実現するため、以下のとおり提言する。

（１）環境保全に加え環境活用を見据えた産業構造の高度化との連動性を意識した「産学官金労言士」（産業界、学術界、行政、金融機関、労働組合、言論界、士業）等による連携体制の強化
（２）森林や環境に対する意識の醸成を高め、市民との一体感を強化し、地域への還元策を推進する地域版ＧＸの仕組みづくりの構築
（３）再エネ事業を基軸とした地域循環型社会の実現

２．福祉分野における人材確保について

生産年齢人口が減少傾向にある今、人が人を支える福祉分野において、そのサービスの給付者と受益者について両者のウェルビーイングが求められている。そういった中にあって、介護の需要に対する福祉資源の不足は著しく、とりわけ人材確保においてその課題は深刻で、安定したサービスの提供が脅かされている現況がある。

良質なサービスを安心して享受できる､安定した介護現場の維持向上に向け、介護事業における人材確保について以下のとおり提言する。

（１）就労に対して意欲や能力、時間的に余裕のある高齢者等の登用
（２）介護職の魅力向上に向けた発信や高齢者の求人求職者の情報など介護に関する情報提供の一元化
（３）外国人材の登用
（４）介護職の処遇改善と負担軽減
（５）介護人材確保協議会（仮称）の設立

３．日本一広大な市域の特色ある地域資源を掘り起こし磨き上げる観光地域づくり推進体制の早期確立について

人口減少や少子高齢化が加速する中で､「観光を活用した持続可能な地域づくり」を推進するためには、地域経済の活力が年々低下している支所地域・エリアの特色ある地域資源を活かしたまちの再生と創生が急務であり、高山市が導入する宿泊税を活用して支所地域・エリアの観光振興を図るため、以下のとおり提言する。

（１）持続可能な地域づくりを進めるための観光地域づくり組織体制の構築支援と観光協会の機能強化
（２）地域の付加価値を創出する専門人材の配置とＤＭＣ等の設立や地域のプレイヤーの支援
（３）日本一広大な市域の観光コンシェルジュとなる広域観光案内所を交通の結節点に新設

４．飛騨高山の歴史文化を通じて人と共にあった財産の一つである「木」を再評価した施策の展開について

「木」は飛騨高山の魅力や価値創造を支えてきた数ある貴重な財産の一つである。木と共に歩んできた高山市ならではのまちづくりを進めるため、「木」を重要な検討軸の一つとして再評価し、横串を通した施策の展開を提言する。

（１）「木」をまちづくりにおける重要な検討軸の一つとしての位置付け
（２）各施策の検討段階における「木」との関連性の強化
（３）「木」を軸とした一貫した施策の展開の多分野への展開
（４）「木」に関する各施策を通じた市民への周知・意識の醸成